

2004年11月1日

報道関係各位

ノバルティス（スイス）が発表しましたリリースの日本語要約をお届けします。

ノバルティス熱帯病研究所とTBアライアンス 画期的な結核治療薬の開発に向け提携

2004年10月27日、シンガポール/ニューヨーク発 - ノバルティス熱帯病研究所（Novartis Institute for Tropical Diseases; 以下、NITD）と結核治療薬開発のための世界同盟（Global Alliance for TB Drug Development; 以下、TBアライアンス）は、画期的かつ有望な結核治療薬の開発に向けた共同研究プログラムの計画を発表しました。TBアライアンスは、手頃な価格の新規結核治療薬の開発を行う官民パートナーシップ組織です。

この共同研究は、ニトロイミダゾピラン（nitroimidazopyran）構造を持つリード化合物をより多く見出し、世界的な健康問題である結核の新たな治療薬の開発につなげることに注力します。現在、世界の人口の約3分の1が結核に感染しています。毎年900万人が新たに感染し、200万人が結核により命を落としています。

NITDとTBアライアンスは、PA-824に関連する次世代のニトロイミダゾピラン系の化合物の創製に取り組みます。PA-824は、TBアライアンスが持つ開発ポートフォリオの中の化合物の一つで、2005年に第 相臨床試験を開始する予定です。PA-824の前臨床試験での結果により、この種の化合物が結核治療薬となる可能性を持つことが示唆されました。そのため、新規結核治療薬の開発に向けて、同じ系統の化合物をさらに調べることとなりました。

NITDは、2003年の開設当時から、TBアライアンスと共同研究を行うこと、そして、ノバルティスグループが、その共同研究から得られた治療薬を、結核が風土病となっている開発途上国の貧しい患者さんに利益なしで提供することを約束していました。これは、TBアライアンスが掲げる「手頃な価格」「普及」「アクセス」の原則に合致しています。

「ノバルティスは、すばやく効果が現れ、手に入れやすい価格の新規結核治療薬を見出す研究に貢献するために立ち上がりました。この取り組みは、私たちの約束を目に見える形で証明するものであり、NITDが本来持つビジョンを具体化したものです」。ノバルティスのコーポレート・リサーチの責任者で、ノバルティス熱帯病研究所の所長を務めるポール・ヘリング（Paul Herrling）博士は、このように述べています。

合意内容には、それぞれの組織が研究開発においてどのような役割を果たすかについても含まれています。NITDは、メディシナルケミストリーの知識、ノウハウ、生物学的評価能力を活用し、一連のニトロイミダゾピラン構造を持つ化合物をデザイン・合成・最適化します。TBアライアンスは、中間化合物ならびに構造デザインを含む科学的な知識、薬理的試験への支援を提供します。

PA-824の試験で明らかになったとおり、ニトロイミダゾピラン構造を持つ化合物は、結核治療薬となる可能性がある優れた特性を持ちます。その新規作用メカニズムは、多剤耐性を持つ結核の治療に極めて重要な役割を果たします。この種の化合物は、*in vitro*(試験管内)および*in vivo*(生体内)試験の双方で、優れた生物学的活性を示しました。他の前臨床試験においては、結核とHIVを一緒に治療する場合に抗レトロウイルス剤との併用を可能とする、好ましい代謝の性質を示しました^(注)。

シンガポールにあるNITDは、新規結核治療薬の研究において中心的な役割を果たす機関となりつつあります。NITDには現在、65人の研究者がいますが、熱帯病および感染症研究へのノバルティスの投資は、開発途上国における風土病に従来関心の薄かった医薬品業界では、例外的な取り組みと言えるでしょう。

TBアライアンスは、過去数十年間で初めてかつ最も包括的な結核治療の候補化合物のポートフォリオ構築を主導し、結核治療を短期化・簡略化するため、ニトロイミダゾピラン系、キノロン系、マクロライド系、カルボキシレート系などの、既知あるいは新規の抗生物質の創製と前臨床開発・臨床開発の加速に取り組んでいます。現在世界中で使用されている結核治療薬は、最新でも1970年に開発されたものであり、6~9カ月と長期に及ぶ治療は、結核克服の進展を妨げています。

ニトロイミダゾピラン系結核治療薬とPA-824の開発、ならびにTBアライアンスに関する詳細は、ウェブサイトをご覧ください。www.tballiance.org

本リリースには、現時点における将来の予想と期待が含まれています。従って、その内容に関しては、また、将来の結果については、不確実な要素や予見できないリスクなどにより、将来の結果が現在の予想と異なる場合があることをご了解下さい。なお、詳細につきましては、ノバルティスが米国証券取引委員会に届けておりますForm 20-Fをご参照下さい。

ノバルティス熱帯病研究所について

ノバルティス熱帯病研究所の目的は、主要な熱帯病の治療と予防に役立つ新規医薬品の創製です。まずは、デング熱と結核の治療薬の開発を目指しています。ノバルティスはこれらの疾患が風土病となっている開発途上国の患者さんに、治療薬を利益なしで提供していきます。この研究所は今後も、世界中から最も優れた科学者を雇用し、最高レベルの研究機関として、博士研究員や大学院生に対し優れた教育・研修の機会を提供していきます。

<http://www.nitd.novartis.com>

以上

(注) HIV感染者は結核を併発することが多いが、HIV治療に使われるある種の抗レトロウイルス剤と現行の結核治療薬には相互作用があり、併用することができない。